

平成 16 年の気象概況

< 平成 16 年の気候統計値 >

平均気温は「平年よりかなり高い」、奈義・福渡・笠岡は「平年より高い」。

降水量は「平年より多い」～「平年よりかなり多い」。

日照時間は「平年より多い」～「平年よりかなり多い」。

平成 16 年は、1 月下旬を中心とした厳しい冷え込みがあったが、年を通じて高温傾向が持続した。岡山では年平均気温の高い方から 2 位（17.1、1998 年の 17.3 に次ぐ高温）、津山では年平均気温の高い方から 2 位（14.6、1998 年の 14.9 に次ぐ高温）を更新した。4 月頃までは少雨傾向が続いたが、5 月には周期的な寒冷前線の通過や停滞した前線により降水量が平年よりかなり多くなった。梅雨前線は中国地方では不活発であったが、相次ぎ上陸した台風の影響などにより年降水量が平年より多くなった。岡山では年降水量の多い方から 2 位（1480.0 ミリ、1993 年の 1646.5 ミリに次ぐ多雨）を更新した。また、岡山では年間日照時間の多い方から 3 位（2186.3 時間、1994 年の 2288.3 時間・1983 年の 2220.1 時間に次ぐ多照）を更新した。

< 冬 >

冬（平成 15 年 12 月～平成 16 年 2 月）の平均気温は「平年並み」～「平年より高い」、降水量は「平年並み」、日照時間は「平年よりかなり多い」。

この冬は、平成 15 年 12 月中旬と 1 月下旬から 2 月上旬に冬型の気圧配置や寒気を伴った大陸の高気圧が張り出し低温の時期があり、寒暖の変動が大きかった。

1 月は、中旬まで短い周期で低気圧や気圧の谷が通過した後、冬型の気圧配置となり県北部を中心に雪や雨の降る所があった。下旬には上空に寒気が流れ込み、強い冬型の気圧配置となり、県北部では雪の降る所があった。下旬前半を中心に強い寒気の影響で気温の低い日が続いた。

2 月は、月上旬まで冬型の気圧配置になることが多く、中旬の中頃は気温が平年より低く、県北部を中心に真冬日⁸⁾となった。中旬は高気圧に覆われることが多く、平均気温が 3 月並、最高気温が 4 月並に高かった。14 日に中国地方に「春一番」²⁾が吹いた。下旬は中旬の終わり頃から移動性高気圧に覆われ、気温の高い状態が続いた。

< 春 >

春（3 月～5 月）の平均気温は「平年よりかなり高い」、降水量は「平年より多い」～「平年よりかなり多い」、日照時間は「平年よりかなり多い」。

春（3 月～5 月）を通じて寒気の南下は一時的で、移動性高気圧に覆われる日が多かった。5 月には太平洋高気圧の勢力が平年より強かったため気温が高く、太平洋高気圧の縁を回って暖かく湿った空気が入ったため低気圧や前線の影響を受けやすく曇りや雨の日が多かった。岡山では 3 か月の平均気温高い方から 3 位（15.4、1998 年の 16.1・2002 年の 15.5 に次ぐ高温）を、3 か月間の日照時間多い方から 1 位（614.7 時間、これまでの最大は 1994 年 3 月～5 月の 613.1 時間）を、津山では 3 か月の平均気温高い方から 3 位（13.0、1998 年の 14.1・2002 年の 13.1 に次ぐ高温）を更新した。

3 月は、月上旬は冬型の気圧配置となることが多く、気温が平年より低く経過した。中旬は移動性高気圧に覆われることが多く、放射冷却のため最低気温が平年より低かったが、日中の気温は平年より高かった。下旬は周期的に変化し、低気圧や気圧の谷の影響で雪や雨の降る所があり、日中の気温が上がらず、県北部の山間部を中心に雪の降る所があった。

4 月は、月上旬は短い周期で変化し、中旬は周期的に気圧の谷や低気圧の影響を受けた。下旬は寒冷前線が通過し、一時的に冬型の気圧配置となり強い風が吹いた日があった他、移動性高気圧に覆われ概ね晴れ、県内各地で真夏日¹⁰⁾となった日があった。

5 月は、月上旬は寒冷前線が通過しまとまった雨となった日があった他、大気の状態が不安定となり、雷を伴った雨や氷あられが降った日があった。中旬は寒冷前線の通過や前線が日本付近に停滞し大雨となった。また、台風第 2 号が日本の南海上を北東に進み、四国沖に停滞した前線の活動が活発となったため雨となった。下旬は中頃まで移動性高気圧に覆われ概ね晴れたが、終わり頃には前線が日本海沿岸に停滞し

た後南下し、県北部を中心にまとまった雨となった。中国地方の梅雨入り⁶⁾は 5 月 29 日ごろ。

< 夏 >

夏（6 月～8 月）の平均気温は「平年より高い」～「平年よりかなり高い」、降水量は「平年並み」～「平年より多い」、日照時間は「平年より多い」～「平年よりかなり多く」。

夏（6 月～8 月）を通じて、太平洋高気圧の勢力が日本付近で強く、オホーツク海高気圧もほとんど出現しなかったため、高気圧に覆われる日が多く、7 月を中心に高温（1994 年に次ぐ高温）となった。梅雨入り・梅雨明け⁶⁾は平年より早く、中国地方では梅雨前線の活動が不活発であった。台風の発生が 6 月と 8 月に多く、うち 6 個が日本に上陸し、西日本では暴風や大雨となった。8 月までの台風の上陸数 6 個は、統計を開始した 1951 年以降で第 1 位の記録となった。

6 月は、上旬の前半は梅雨前線が日本の南海上に停滞し高気圧に覆われ概ね晴れたが、上旬の中頃から梅雨前線の影響で大気の状態が不安定となり、県中部を中心に降水量が平年より多かった。中旬の初めには台風第 4 号の影響で県東部を中心にまとまった雨となった。中旬の中頃は高気圧に覆われ概ね晴れたが、後半は南からの暖かく湿った空気や台風第 6 号の北上のため、雲が広がりやすく雨の降った所があった。下旬の初めは台風第 6 号の影響で県内でも荒れた天気となった。下旬の後半には梅雨前線が中国地方に停滞したため断続的に強い雨が降った。

7 月は、上旬は台風第 7 号から変わった低気圧から伸びる前線が通過したため雨の日があった他、南から暖かく湿った空気が入ることが多く、大気の状態が不安定となり雨や雷雨の日があった。中旬は太平洋高気圧に覆われることが多く概ね晴れたが、上空の寒気や日射の影響で大気の状態が不安定となり一時雨の降る所があった。中国地方の梅雨明け⁶⁾は 7 月 13 日ごろ。下旬は太平洋高気圧に覆われ概ね晴れた日が続いたが、南からの暖かく湿った空気や上空の寒気、強い日射のため大気の状態が不安定となり雨や雷雨の日があった。月の終わりには台風第 10 号が高知県西部に上陸し中国地方を縦断したため、県内でも荒れた天気となった。月を通じて、太平洋高気圧に覆われやすかったため、気温が高く降水量が少ない状態が続いた。岡山・津山とも月平均気温は平年を 2 以上上回り、降水量は平年の 30%以下、日照時間は平年の 130%前後であった。岡山地方気象台は 23 日に、「高温と少雨に関する岡山県気象情報 第 1 号」を発表した。

8 月は、上旬の前半は台風第 10 号から変わった熱帯低気圧に向かって南から暖かく湿った空気が流れ込んだため大雨となり、台風第 11 号が四国に上陸し近畿地方を通過したため県東部を中心に猛烈な雨が降った。上旬の後半は南からの暖かく湿った空気や強い日射、上空の寒気の影響で大気の状態が不安定となり、雷を伴い雨の降る所があった。中旬の初めは高気圧に覆われ概ね晴れたが、その後日本海の前線が南下し雨の降る所があった。中旬の終わり頃には台風第 15 号が日本海を北東に進んだため、雨の降る所があった。下旬の前半は、前線の影響で大気の状態が不安定となり雨の降る所があった。その後高気圧に覆われ概ね晴れたが、上空の寒気や日射のため大気の状態が不安定となり雨の降る所があった。下旬の終わり頃には台風第 16 号が中国地方を通過したため、荒れた天気となった。

< 秋 >

秋（9 月～11 月）の平均気温は「平年より高い」～「平年よりかなり高い」、降水量は「平年より多い」～「平年よりかなり多い」、日照時間は「平年より少ない」～「平年並み」、上長田は「平年よりかなり少ない」、古町・虫明は「平年より多い」。

秋（9 月～11 月）を通じて、寒気の南下が一時的であり、気温の高い日が多かった。特に 9 月と 11 月は気温が平年よりかなり高かった。また、台風、低気圧や前線の影響で降水量が多かった。このため、岡山では 3 か月平均気温の高い方から 3 位（19.2、1999 年の 19.4、1998 年の 19.4 に次ぐ高温）を、津山では 3 か月平均気温の高い方から 3 位（16.7、1961 年の 17.1、1998 年の 16.8 に次ぐ高温）を更新し、岡山では 3 か月間降水量の多い方から 3 位（446.5 ミリ、1990 年の 630.0 ミリ、1998 年の 459.0 ミリに次ぐ多雨）を更新した。

この秋（9 月～11 月）には、台風が日本に 6 個接近し、そのうち 4 個（平年 1 個）上陸した。台風上陸数 4 個は 1951 年以降で 1 位タイ記録（これまでは 1954 年、1990 年、1998 年の 4 個）となった。

9 月は、上旬の中頃に台風第 18 号が長崎県に上陸し九州から山陰沖を通過したため、県内でも大荒れの天気となった他、上旬は前線の影響で雲が広がりやすく雨の降る所があった。中旬は高気圧に覆われ晴れる日が多かったが、南から暖かく湿った空気が入り雲が広がりやすく雨の降る所があった。下旬の終わり頃には台風第 21 号が鹿児島県に上陸し四国・近畿地方を通過したため、県内でも大荒れの天気となった。

台風第 21 号に伴い、那岐山のふもとで吹く局地風「広戸風」が吹いた。月を通じて、南から暖かく湿った空気が入り雲が広がりやすく月平均気温が高く、月間日照時間が少なかった。また、台風の影響で月降水量が多かった。9 月の真夏日¹⁰⁾の日数は、岡山で 15 日（平年 8.3 日）、津山で 8 日（平年 6.0 日）であった。

10 月は、上旬は高気圧が北に偏って張り出し日本付近に前線が停滞しやすかったため、曇りや雨の降った日があった他、上旬の終わり頃には台風第 22 号が南海上を北東に進み、雲が広がり雨の降った所があった。中旬の中頃までは高気圧に覆われ晴れる日が多かったが、中旬の終わりに台風第 23 号が四国に上陸し近畿地方を通過したため、県内では雨・風ともに強く大荒れの天気となった。下旬の後半は台風第 24 号から変わった温帯低気圧が南海上を東進したため、雲が広がり雨の降る所があった。この月は、台風や前線の影響で月降水量が多く、平年の 150%～300%、多い所で 400%を超える所があった。台風第 23 号により非常に強い風が吹き、最大風速や最大瞬間風速の歴代記録 1 位を更新した所があり、また那岐山のふもとで吹く局地風「広戸風」が吹いた。

11 月は、上旬は高気圧に覆われ晴れる日が多かったため、気温が平年より高く、降水量が平年より少なかった。中旬は数日の周期で変わり、低気圧や前線の通過後は一時的に冬型の気圧配置となり、県南部では概ね晴れるが、県北部では寒気の影響でしづける所があった。南から暖かく湿った空気が入りやすく、気温が平年より高く、降水量が南部を中心に平年より多かった。下旬は高気圧に覆われ晴れる日が多かった。26 日に寒冷前線が通過し、一時的に冬型の気圧配置となり、県北部では寒気の影響で雲が広がる所があった。この月は、上旬と下旬を中心に高気圧に覆われ晴れる日が多く、また南から暖かい空気が入りやすかったため、気温が平年より 2.0 近く高く、日照時間が多く県北部で平年の 115%前後、県南部で平年の 120%前後であった。また、月降水量が少なく、県北部で平年の 30%～40%、県南部で平年の 40%～70%であった。

12 月は、上旬から中旬にかけては数日の周期で気圧の谷や前線の影響を受けた。4 日から 5 日にかけて、発達しながら通過した低気圧と台風第 27 号からの湿った空気の影響により大雨となった。気圧の谷や前線の通過後、一時的に冬型の気圧配置となり、県北部を中心に雲が広がり雨の降る所があったが、その他の日は高気圧に覆われ晴れる日が多く、気温の高い状態が続いた。中旬末に低気圧が発達しながら日本海を進んだ後、冬型の気圧配置が続き、寒気が入るようになった。24 日には放射冷却のため県内各地で最低気温が氷点下となり、岡山では 24 日に初霜を観測した。月末には、南岸を低気圧が通過し県内各地で降雪があり、岡山では 31 日に初雪と結氷を観測した。上旬と中旬には寒気の影響がほとんどなく、気温の高い状態が続き、月平均気温が平年より高かった。また、4 日から 5 日にかけての低気圧の通過と台風第 27 号からの湿った空気の影響による大雨及び月末の降雪により、月降水量が平年よりかなり多かった。

1 月＜下旬を中心に厳しい冷え込み＞

上旬は短い周期で気圧の谷が通過した後、冬型の気圧配置となり県北部を中心に雲が広がり雪や雨の降る所があった。上旬の中頃と終わり頃には高気圧に覆われ概ね晴れ、4 日～6 日、9 日には放射冷却のため最低気温が平年より低かった。

中旬は冬型の気圧配置となることが多く、13 日～14 日にかけて強い冬型の気圧配置となり、県南部ではやや強い風が吹き、県北部では降雪があった。岡山では 13 日に、最大風速 西北西の風 17.1 メートル、最大瞬間風速 西北西の風 28.1 メートルを観測した。最深積雪は 13 日に上長田 58 センチ、千屋 51 センチ、古町 11 センチ、津山 9 センチ、14 日に上長田 70 センチ、千屋 50 センチ、古町 20 センチ、津山 9 センチを観測した。16 日～17 日にかけて低気圧が東シナ海から四国の南海上を通過し、県南部でも雪の降る所があった。岡山では 17 日 5 時前から雪を観測し、その後みぞれに変わり、10 時過ぎまで続いた。18 日には高気圧に覆われ、放射冷却のため最低気温が平年より低く、県内のアメダス観測所全てで最低気温が氷点下となった。

下旬は 22 日と 25 日に上空に寒気が流れ込み、強い冬型の気圧配置となり、全般に雲が広がりやすく、県北部を中心に雪の降る所があった。このため、22 日、23 日、24 日、25 日及び 26 日の最低気温が県内全域で氷点下となり、22 日には県北部を中心に真冬日⁸⁾となった。この厳しい冷え込みのため、水道管の凍結や破裂などが発生し、22 日に岡山市では水道管の凍結 68 件、水道管の破裂 96 件、倉敷市では水道管の凍結 64 件、水道管の破裂 28 件、23 日に岡山市では水道管の凍結 89 件、水道管の破裂 791 件、倉敷市では水道管の凍結 173 件、水道管の破裂 142 件、24 日に岡山市では水道管の凍結 15 件、水道管の破裂 729 件、倉敷市では水道管の凍結 45 件、水道管の破裂 45 件、25 日に倉敷市では水道管の凍結 13 件、水道管の破裂 13 件発生した（岡山市と倉敷市調べ）。最深積雪は 25 日に上長田 91 センチ、千屋 41 センチ、古町

3 センチ、津山 12 センチを観測した。

1 月 14 日に「スイセンの開花」(後楽園)(平年は 1 月 16 日、昨年は 1 月 17 日)を観測した。

平均気温は「平年より低い」、岡山・倉敷は「平年並み」。降水量は「平年よりかなり少ない」～「平年より少ない」、恩原は「平年並み」。日照時間は「平年よりかなり少ない」。

2 月 < 県北部を中心に真冬日、山林火災、3 年ぶりの春一番、3 月～4 月並の暖かさ >

上旬は 1 日～2 日にかけて低気圧が通過した後、冬型の気圧配置が続き、県北部では雪の降る所があり、県南部でも雲が広がり雪の降る所があった。5 日～8 日まで気温が平年より低く、県内のアメダス観測所全てで最低気温が氷点下となり、7 日には県北部を中心に真冬日⁽⁸⁾となった。

中旬は高気圧に覆われることが多く、気温が高く、降水量が少なく、日照時間が多かった。特に、中旬の終わり頃(下旬の初め頃まで)にかけて、平均気温が 3 月中旬～下旬並、最高気温が 3 月下旬～4 月中旬並に高かった。高気圧に覆われることが多く、空気が乾燥した状態が続く中、12 日に矢掛町の山林で、18 日には岡山市大安寺東町の山林で火災が発生した。13 日には岡山で日最小相対湿度の 1 位(13%、これまでの最小は 2002 年 2 月 7 日の 17%)を、20 日には津山の日最小相対湿度の 1 位(18%、これまでの最小は 1977 年 2 月 28 日の 18%)を更新した。13 日夜に渤海付近で低気圧が発生し、日本海を発達しながら東北東に進んだ。14 日には低気圧から伸びる寒冷前線が通過し、岡山では最高気温 15.5、最大風速 西南西の風 14.8 メートル、最大瞬間風速 西南西の風 25.8 メートルを、津山では最高気温 14.2、最大風速 西南西の風 8.9 メートル、最大瞬間風速 西南西の風 22.6 メートルを観測した。このため、中国地方の「春一番」⁽²⁾を発表した。

下旬は中旬の終わり頃から移動性高気圧に覆われ、気温の高い状態が続き、22 日には日本海を低気圧が発達しながら進み、南から暖かい空気が流れ込んだため、岡山では日最高気温の高い方から 1 位(21.3、これまでの最高は 1996 年 2 月 14 日の 20.0)を、津山では日最高気温の高い方から 1 位(22.5、これまでの最高は 1954 年 2 月 27 日の 21.3)を更新した。県内各地のアメダス観測所でも、22 日の日最高気温が 21 を超える所があった。また、22 日午後に寒冷前線が通過し、一時的にやや強い風が吹いた所や強い雨の降った所があり、岡山では最大風速 西の風 11.7 メートル、最大瞬間風速 西北西の風 19.3 メートルを、津山では最大風速 南南東の風 7.3 メートル、最大瞬間風速 南南東の風 15.3 メートルを観測した。また、岡山では日降水量 19.0 ミリ、最大 1 時間降水量 10.0 ミリを、津山では日降水量 14.0 ミリ、最大 1 時間降水量 7.0 ミリを観測した。県内各地のアメダス観測所でも、22 日の最大風速が強い所で 7 メートル、日降水量が多い所で 30 ミリ近く降る所があった。29 日には日本海を低気圧が進み、中国地方を寒冷前線が通過し、朝のうち、まとまった降水量があった。岡山では日降水量 20.5 ミリ、最大 1 時間降水量 5.5 ミリ、津山では日降水量 15.5 ミリ、最大 1 時間降水量 3.0 ミリを観測した。県内各地のアメダス観測所でも、29 日の日降水量が多い所で 20 ミリを超える所があった。

2 月 15 日に「ウメの開花」(後楽園)(平年は 2 月 8 日、昨年は 2 月 10 日)を、20 日に「ヒバリの初鳴き」(岡山市いずみ町)(平年は 2 月 18 日、昨年は 2 月 12 日)を観測した。

平均気温は「平年より高い」。降水量は「平年並み」、上長田・恩原は「平年よりかなり少ない」、古町は「平年より少ない」、佐屋・虫明・玉野は「平年より多い」。日照時間は「平年よりかなり多い」。

3 月 < 上旬：冬型の気圧配置と県南部の雪、下旬：周期的な変化とまとまった降水量、黄砂 >

上旬は、2 月 29 日～3 月 1 日と 5 日～6 日に前線の通過や気圧の谷の影響で雲が広がり雨の降る所があった他、冬型の気圧配置となることが多く、県北部を中心に雪や雨の降る所があった。上旬後半には一時強い冬型の気圧配置となり、県南部でも雪の降る所があった(最深積雪は 4 日に上長田 3 センチ、千屋 1 センチ、7 日に上長田 34 センチ、千屋 28 センチ、古町 8 センチ)。上旬中頃を中心に寒気の影響で、気温が平年より低く経過した。5 日と 8 日は移動性高気圧に覆われ、放射冷却のため、県内各地のアメダス観測所で最低気温が氷点下となった。

中旬は、11 日、17 日及び 19 日は前線や気圧の谷の影響で雲が広がり雨の降る所があった。その他の日は高気圧に覆われ概ね晴れ、放射冷却のため最低気温が平年より低かったが、日中の最高気温は平年より高かった。11 日～12 日に黄砂が飛来した。

下旬は周期的に変化し、22 日、24 日～25 日及び 30 日に低気圧や気圧の谷の影響で雲が広がり雨の降る所があり、22 日には雪が 30 日にはまとまった雨が降った。その他の日は、移動性高気圧に覆われ概ね晴

れ、放射冷却のため最低気温が平年より低かった。また、22 日には四国の南海上を低気圧が発達しながら東進したため、日中の気温が上がらず、県北部の山間部を中心に雪の降る所があった（最深積雪は 22 日に千屋 4 センチ）。

3 月 16 日にモンシロチョウの初見（今在家）（平年は 3 月 22 日、昨年は 3 月 26 日）とツバメの初見（中島）（平年は 3 月 24 日、昨年は 3 月 29 日）を、19 日にウグイスの初鳴（半田山）（平年は 3 月 4 日、昨年は 3 月 13 日）を、23 日にスミレの開花（後樂園）（平年は 3 月 27 日、昨年は 3 月 20 日）を、25 日にサクラの開花³⁾（後樂園）（平年は 3 月 31 日、昨年は 3 月 29 日）を、26 日にタンポポの開花（鳥城公園）（平年は 3 月 18 日、昨年は 3 月 19 日）を観測した。

平均気温は「平年並み」～「平年より高い」。降水量は「平年より少ない」～「平年並み」。日照時間は「平年よりかなり多い」、玉野は「平年より多い」。

4 月＜台風第 1 号、中旬を中心に高温・多照、山林火災、黄砂＞

上旬は短い周期で変わり、4 日には四国の南海上を低気圧が進み、寒気の影響で気温が平年より低かった（倉敷市の一部で降ひょう）。また、1 日、5 日～6 日及び 9 日には移動性高気圧に覆われ、放射冷却のため最低気温が平年より低かった。期間を通じて、低気圧や気圧の谷の影響が小さく、降水量が平年より少なく、日照時間が平年より多かった。

中旬は、周期的に気圧の谷や低気圧の影響を受け、14 日には県中南部を中心に、19 日には県北部を中心に雨が降った。その他の日は移動性高気圧に覆われ概ね晴れた。期間を通じて、気温が平年より高く、降水量が平年より少なく、日照時間が平年より多かった。5 日に発生した台風第 1 号は、12 日～16 日にかけてフィリピンの東海上から父島の南海上を進み、16 日 21 時に温帯低気圧となった。乾燥注意報発表中の 11 日、井原市下出部町付近の山林で火災が発生し、約 6 ヘクタールを焼き 12 日鎮火した。移動性高気圧に覆われた 13 日に、津山では日最小相対湿度の 1 位（11%、これまでの最小は 2003 年 4 月 16 日の 11%）を更新した。また、移動性高気圧に覆われた 12 日及び 16 日～18 日は、県内各地で夏日⁹⁾となった。

下旬は、23 日と 27 日に寒冷前線が通過し、一時的に冬型の気圧配置となり強い風が吹き、27 日にはやや強い雨が降った。23 日朝のうち、日本海の低気圧から伸びる寒冷前線が通過した後、上空に真冬並の寒気が入り、岡山では最大風速 北北西の風 15.8 メートル、最大瞬間風速 北の風 22.8 メートルを、津山では最大風速 北北西の風 4.9 メートル、最大瞬間風速 北北西の風 13.5 メートルを観測した。25 日は、日本海中部に低気圧があるが、県内は日本の南海上に中心を持つ移動性高気圧に覆われ概ね晴れた。このため、日本海の低気圧に吹き込む風と海陸風のため、県内各地で日中やや強い南よりの風が吹いた。岡山では最大風速 南西の風 10.0 メートル、最大瞬間風速 南西の風 16.1 メートルを、津山では最大風速 南の風 7.3 メートル、最大瞬間風速 南の風 11.4 メートルを観測した。26 日は、低気圧が黄海付近にあって東北東に進み、27 日昼頃には発達しながら山陰沖、27 日夜には三陸沖に進み、この低気圧に向かって南から暖かく湿った空気が流れ込み、県内では 26 日夜から雨の降る所があり、27 日昼頃までに多い所で 50 ミリ前後の雨が降った。27 日朝のうち、この低気圧から伸びる寒冷前線が通過し、岡山では最大風速 西南西の風 16.0 メートル、最大瞬間風速 西南西の風 27.8 メートルを、津山では最大風速 西南西の風 9.6 メートル、最大瞬間風速 西南西の風 22.2 メートルを観測した。その他の日は移動性高気圧に覆われ概ね晴れ、22 日には強い日射も加わり、県内各地で真夏日¹⁰⁾となった。岡山では日最高気温の高い方から 1 位（29.6、これまでの最高は 1983 年 4 月 27 日の 29.4）を、津山では日最高気温の高い方から 2 位（30.1、これまでの最高は 1998 年 4 月 29 日の 30.4）を更新した。移動性高気圧に覆われた 29 日に、岡山では日最小相対湿度の 1 位（10%、これまでの最小は 2000 年 4 月 18 日の 11%）を更新した。

4 月は低気圧が日本海や沿海州を通過することが多く、移動性高気圧に覆われて晴れ、中旬を中心に暖かい日が多かった。このため、岡山では月平均気温の高い方から 3 位（16.1、1998 年 4 月の 17.2・1983 年 4 月の 16.3 に次ぐ高温）を、月間日照時間の多い方から 1 位（249.3 時間、これまでの最大は 1985 年 4 月の 216.0 時間）を更新した。また、津山では月間日照時間の多い方から 1 位（239.2 時間、これまでの最大は 1945 年 4 月の 233.7 時間）を更新した。17 日～18 日及び 21 日～23 日に黄砂⁵⁾が飛来した。

4 月 1 日にイチヨウの発芽（後樂園）（平年は 4 月 10 日、昨年は 4 月 8 日）を、2 日にサクラの満開³⁾（後樂園）（平年は 4 月 7 日、昨年は 4 月 5 日）を、13 日にノダフジの開花（半田山）（平年は 4 月 21 日、昨年は欠測）とシバの発芽（気象台構内）（平年は 4 月 13 日、昨年は 4 月 8 日）を、24 日にニホンアマガエルの初鳴（津島）（平年は 4 月 11 日、昨年は 4 月 11 日）、ニホンアマガエルの初見（津島）（平年は 4 月 14 日、昨年は 5 月 4 日）とキアゲハの初見（今在家）（平年は 4 月 30 日、昨年は 5 月 12 日）を観測した。

平均気温は「平年より高い」、岡山・倉敷・玉野は「平年よりかなり高い」。降水量は「平年より少ない」、恩原・千屋・古町・高梁は「平年並み」。日照時間は「平年よりかなり多い」。

5 月＜周期的な寒冷前線の通過、停滞した前線による大雨、梅雨入り、台風第 2 号、高温・多雨、黄砂＞

上旬は、4 日と 10 日に寒冷前線が通過し、低気圧や前線に向かって南から暖かく湿った空気が流れ込んだため、3 日～4 日にかけて県北部を中心に多い所で 20 ミリを超える雨、9 日～10 日にかけて県内各地で 40 ミリ前後、多い所で 60 ミリを超える雨となった。その他の日は移動性高気圧に覆われ概ね晴れた。10 日午後には上空に寒気が入り大気の状態が不安定となったため、雷を伴った雨や氷あられが降った所があった。7 日～8 日に黄砂⁵⁾が飛来した。

中旬は、13 日に寒冷前線が通過し、13 日明け方から降り始めた雨は県内各地で 40 ミリ～50 ミリ、多い所で 70 ミリを超える雨となり、1 時間に 20 ミリを超える強い雨が降った所があった。15 日～17 日にかけて前線が日本付近に停滞し多い所で 100 ミリを超える大雨となり、断続的にやや強い雨が降り、1 時間に 20 ミリ近い強い雨が降った所があった。19 日～20 日にかけて台風第 2 号が日本の南海上を北東に進み、四国沖に停滞した前線の活動が活発となったため、県内各地で 20 日昼頃から夜にかけて多い所で 30 ミリ前後の雨が降った。台風第 2 号は、14 日 15 時ミンダナオ島の東で発生し、20 日 9 時には南大東島の南南東、同日 21 時には八丈島の南南西に進んだ。21 日 9 時には銚子市の南東に進み、同日 15 時に日本の東海上で温帯低気圧となった。

下旬は、中頃まで移動性高気圧に覆われ概ね晴れたが、28 日～29 日にかけて低気圧が朝鮮半島付近から日本海に進み、この低気圧から伸びる前線が日本海沿岸に停滞し雨の降る所があった。31 日には日本海沿岸に停滞した前線が南下し、県北部を中心に 31 日朝のうちから宵のうちに掛けて多い所で 60 ミリの雨が降った。また、1 時間に 20 ミリ近いやや強い雨が降った所があった。中国地方の梅雨入り⁶⁾は 5 月 29 日ごろ（平年は 6 月 6 日ごろ、昨年は 6 月 10 日ごろ）。

5 月は低気圧が日本付近を通過することが多く、低気圧や前線に吹き込む南風の影響により、平年より気温が高く、降水量が多かった。岡山では月平均気温の高い方から 2 位（20.7、1998 年 5 月の 21.2 に次ぐ高温）を、月降水量の多い方から 2 位（240.5 ミリ、1995 年 5 月の 252.5 ミリに次ぐ多雨）を、津山では月平均気温の高い方から 2 位（18.3、1998 年 5 月の 19.2 に次ぐ高温）を、月降水量の多い方から 1 位（313.0 ミリ、これまでの最大は 1980 年 5 月の 301.5 ミリ）を更新した。

5 月 7 日にハルゼミの初鳴（半田山）（平年は 5 月 6 日、昨年は 5 月 12 日）を、23 日にシオカラトンボの初見（半田山）（平年は 5 月 15 日、昨年は 5 月 21 日）を観測した。

平均気温は「平年よりかなり高い」。降水量は「平年よりかなり多い」。日照時間は「平年よりかなり少ない」、古町は「平年より多い」。

6 月＜梅雨前線の影響による強い雨、台風第 4 号の北上による梅雨前線の活発化、台風第 6 号の接近・通過に伴う強風、高温・多照＞

上旬は、前半を中心に梅雨前線が日本の南海上に停滞し高気圧に覆われ概ね晴れたが、中頃から梅雨前線の影響で大気の状態が不安定となり雨の降る所があった。7 日には日本海沿岸に停滞していた梅雨前線が次第に南下し、梅雨前線に向かって南から暖かく湿った空気が入ったため、県内では 7 日朝のうちから宵のうちに掛けて多い所で 40 ミリ～50 ミリの雨となり、1 時間に 20 ミリ～40 ミリの強い雨が降った所があった。

中旬は、11 日に高知県東部に上陸した台風第 4 号の影響で県東部を中心にまとまった雨となり、12 日は台風第 4 号から変わった温帯低気圧や気圧の谷の影響で雲が広がり雨の降った所があった。中旬の中頃は高気圧に覆われ概ね晴れたが、中旬の後半は南からの湿った空気や台風第 6 号の北上のため、雲が広がり雨の降った所があった。

台風第 4 号は、6 月 7 日 9 時に南シナ海で発生し、11 日 9 時には宮崎県都井岬の南南東に進み、同日 16 時頃に高知県東部に上陸した後、同日 17 時に徳島県内で温帯低気圧となった。県内では、台風第 4 号の北上により梅雨前線の活動が活発となり、11 日朝のうちから宵のうちに掛けて雨となり、県東部を中心に多い所で 30 ミリ～40 ミリの雨となり、夕方を中心に 1 時間に 10 ミリを超えるやや強い雨が降った所があった。

下旬は、21 日に台風第 6 号が高知県室戸市付近に上陸し、近畿地方を通過したため県内でも荒れた天気となった。24 日に梅雨前線が四国南岸から北上し、25 日～27 日にかけて梅雨前線が日本海沿岸から南下し中国地方に停滞したため断続的に強い雨が降った。24 日午後から 28 日朝のうちまでに県南西部で 100 ミリ～130 ミリ、他の地域で 50 ミリ～100 ミリの雨となった。また、24 日と 25 日には 1 時間に 10 ミリ前後のやや強い雨、26 日には 1 時間に 20 ミリ前後の強い雨、27 日には 1 時間に 30 ミリ前後の強い雨、28 日朝のうちには 1 時間に 40 ミリを超える激しい雨が降った所があった。その他の日は、気圧の谷や上空の寒気の影響で、大気の状態が不安定となり雲が広がりやすく、県北部を中心に雨の降る所があった。高気圧に覆われた下旬の初め頃と終わり頃を中心に気温が高く、期間を通じて雲が広がりやすく日照時間が少なかった。

台風第 6 号は、6 月 13 日 21 時カロリン諸島付近で発生し、21 日 9 時には高知市の南東に進み、同日 9 時半頃に高知県室戸市付近に上陸した。21 日 13 時過ぎに兵庫県明石市付近に再上陸、同日 15 時には京都府舞鶴市付近、同日 21 時に佐渡沖に進み、22 日 3 時に津軽海峡の西の海上で温帯低気圧に変わった。県内は、台風第 6 号の接近・通過により強風域に 20 日夜半頃から 21 日夜遅くまで入り、また、県内の一部が暴風域に 21 日昼前頃から昼過ぎ頃まで入った。このため、台風第 6 号の接近により次第に東よりの風が強くなり、台風第 6 号が遠ざかるに従って西よりの風が強くなった。21 日に岡山では最大風速 東の風 14.2 メートル（7 時 30 分）、最大瞬間風速 東の風 25.0 メートル（5 時 59 分）を、津山では最大風速 西南西の風 6.1 メートル（17 時 20 分）、最大瞬間風速 東の風 15.4 メートル（9 時 46 分）を観測した。県内の雨は、21 日昼前から昼過ぎにかけて台風本体の発達した雨雲がかかり、21 日の総雨量は県北西部の多い所で 10 ミリ前後、県南東部の多い所で 20 ミリ～40 ミリの雨となった。また、宇野検潮所では高潮の最高潮位は 21 日 1 時 8 分に東京湾平均海面上 154 センチを、最大潮位偏差は 21 日 16 時 15 分に 88 センチを観測した。

6 月 1 日にホタルの初見（今在家）（平年は 5 月 24 日、昨年は 5 月 16 日）を、7 日にアジサイの開花（西川）（平年は 6 月 12 日、昨年は 6 月 5 日）を、19 日にニイニイゼミの初鳴（津島）（平年は 7 月 4 日、昨年は 7 月 2 日）を観測した。

平均気温は「平年よりかなり高い」、玉野は「平年より高い」。降水量は「平年並み」～「平年より多い」、恩原は「平年より少ない」。日照時間は「平年より少ない」～「平年並み」、上長田・奈義・福渡は「平年よりかなり少ない」、新見・笠岡は「平年より多い」。

7 月＜梅雨明け、降ひょう、台風第 7 号・第 10 号、1994 年に次ぐ高温、少雨・多照＞

上旬は、4 日に台風第 7 号から変わった低気圧の影響で雲が広がり、5 日にこの低気圧から伸びる前線が通過し朝のうち雨となり、県内多い所で 10 ミリを超える雨となった。その他の日は高気圧に覆われ概ね晴れたが、南から湿った空気が入ることが多く、大気の状態が不安定となり雲が広がり、雷を伴い雨の降る所があった。期間を通じて、気温（最高気温、平均気温、最低気温とも）が平年より高く、日照時間が多かった。

中旬は、太平洋高気圧に覆われることが多く概ね晴れたが、上空の寒気や日射の影響で大気の状態が不安定となり、一時雨の降る所があった。期間を通じて太平洋高気圧に覆われることが多かったため、気温（最高気温、平均気温、最低気温とも）が平年より高く、降水量が平年よりかなり少なく、日照時間が平年より多かった。中国地方の梅雨明け⁶⁾は 7 月 13 日ごろ（平年の梅雨明けは 7 月 20 日ごろ、昨年の梅雨明けは 7 月 31 日ごろ）。

下旬は、太平洋高気圧に覆われることが多く概ね晴れた日が続いたが、南からの湿った空気のため雲が広がった日や、また上空の寒気や強い日射のため大気状態が不安定となり雨や雷雨の日があった。25 日には、太平洋高気圧の周辺に沿って南から湿った空気が入り、また上空には寒気が入ったため、大気の状態が不安定となり、県内では日中所々で雲が発達し、雷を伴い強い雨の降った所があった。この強い雨とともに、建部町大田・中田地区と新見市法曾・井倉地区で「ひょう」が降った（岡山県農業総合センター調べ）。31 日には台風第 10 号が高知県西部に上陸し中国地方を縦断したため県内でも荒れた天気となった。

台風第 10 号は 7 月 25 日 21 時に南鳥島の西で発生し、31 日 16 時過ぎに高知県西部に上陸、同日 21 時半頃に広島県広島市付近に上陸した。その後 8 月 1 日 21 時に日本海で熱帯低気圧となった。県内では台風第 10 号の接近・通過により、31 日明け方から 8 月 1 日明け方にかけて強風域に入り、岡山では 31 日に最大風速 東の風 15.4 メートル（19 時 10 分、7 月の日最大風速・風向の 1 位更新）、最大瞬間風速 東北東の風 28.4 メートル（19 時 02 分）、8 月 1 日に最大風速 東南東の風 12.2 メートル（2 時 20 分）、最大瞬間風速 東南東の風 24.7 メートル（3 時 05 分）を、津山では 31 日に最大風速 東の風 6.7 メートル（18

時 40 分) 最大瞬間風速 東の風 16.2 メートル (18 時 38 分) 8 月 1 日に最大風速 南東の風 8.2 メートル (12 時 10 分) 最大瞬間風速 南の風 17.8 メートル (12 時 11 分) を観測した。県内のアメダス観測所の最大風速は、31 日に新見で東の風 9 メートル (22 時 00 分) 笠岡で東北東の風 12 メートル (20 時 20 分) 玉野で東の風 18 メートル (21 時 50 分) 8 月 1 日に新見で東南東の風 9 メートル (00 時 50 分) 玉野で東南東の風 16 メートル (03 時 50 分) を観測した。県内の雨は、31 日午前から断続的に強い雨が降り、岡山では 31 日に 1 時間降水量 9.5 ミリ、8 月 1 日に 1 時間降水量 20.5 ミリを、津山では 31 日に 1 時間降水量 6.5 ミリ、8 月 1 日に 1 時間降水量 10.0 ミリを観測した。県内の多い所で、31 日に 30 ミリ~40 ミリ、8 月 1 日に 110 ミリ~140 ミリの雨が降った。また、宇野検潮所では 31 日 23 時 52 分に東京湾平均海面上 197 センチを、高潮の最高潮位は 31 日 23 時 44 分に東京湾平均海面上 201 センチを、最大潮位偏差は 31 日 10 時 59 分に 60 センチを観測した。

月を通じて、太平洋高気圧に覆われることが多く高温・少雨・多照が顕著であった。岡山では月平均気温の高い方から 2 位 (29.2、1994 年 7 月の 29.8 に次ぐ高温) 月降水量の少ない方から 1 位 (40.5 ミリ、これまでの最小は 2001 年 7 月の 54.5 ミリ) 月間日照時間の多い方から 2 位 (234.0 時間、これまでの最大は 1994 年 7 月の 280.1 時間) を、津山では月平均気温の高い方から 2 位 (26.8、1994 年 7 月の 27.9 に次ぐ高温) 月降水量の少ない方から 5 位 (73.0 ミリ) を更新した。また岡山では、29 日に日最高気温の高い方から 1 位 (37.9、これまでの最高は 1994 年 7 月 15 日の 37.6) を更新した。

7 月 4 日にツクツクホウシの初鳴 (津島) (平年は 7 月 19 日、昨年は 7 月 17 日) を、6 日にアブラゼミの初鳴 (いずみ町) (平年は 7 月 14 日、昨年は 7 月 8 日) を、24 日にサルスベリの開花 (津島) (平年は 7 月 26 日、昨年は 7 月 17 日) を観測した。

平均気温は「平年よりかなり高い」。降水量は「平年よりかなり少ない」~「平年より少ない」。日照時間は「平年より多い」~「平年よりかなり多い」、奈義は「平年並み」。

8 月<南からの暖かく湿った空気による大雨、台風第 11 号による猛烈な雨、台風第 15 号、台風第 16 号の接近・通過に伴う強風・大雨と高潮>

上旬は、台風第 10 号が 7 月 31 日に四国に上陸し中国地方を通過した後、8 月 1 日 21 時に日本海で熱帯低気圧となった。この台風と台風から変わった熱帯低気圧に向かって南から暖かく湿った空気が流れ込んだため、7 月 31 日午前から断続的に強い雨が降り、8 月 2 日にかけて大雨となった。県内の雨は多い所で、1 日に 110 ミリ~140 ミリ、2 日に 30 ミリ~60 ミリであった。4 日には台風第 11 号が四国に上陸し近畿地方を通過したため、5 日明け方にかけて県東部を中心に猛烈な雨が降った。上旬の後半は太平洋高気圧に覆われ概ね晴れたが、南からの湿った空気や強い日射、上空の寒気の影響で大気の状態が不安定となり、雷を伴い雨の降る所があった。台風第 10 号と台風から変わった熱帯低気圧による大雨や台風第 11 号による猛烈な雨のため、降水量が平年よりかなり多かった。

台風第 11 号は、8 月 4 日 12 時に潮岬の南南東の海上で発生し、同日 21 時には徳島市の南南東、同日 22 時半頃に徳島県阿南市付近に上陸、5 日 1 時頃に兵庫県相生市付近に再上陸し、同日 6 時に能登沖で熱帯低気圧となった。県内の雨は、4 日 23 時頃から強まり、5 日 1 時頃を中心に 1 時間に 80 ミリを超える猛烈な雨が降った所があった (恩原 31 ミリ、津山 59.0 ミリ、周匝 64 ミリ、和気 66 ミリ、虫明 81 ミリ)。4 日から 5 日にかけて多い所で恩原 73 ミリ、奈義 49 ミリ、古町 45 ミリ、津山 90.0 ミリ、周匝 87 ミリ、和気 95 ミリ、虫明 107 ミリの雨が降った。

中旬は、旬の初め頃は高気圧に覆われ概ね晴れたが、14 日~15 日にかけて日本海の前線が南下し雲が広がり雨の降る所があった。その後、南から暖かく湿った空気が流れ込んだため、雨の降る所があり、一時強く降る所があった。中旬の終わり頃には台風第 15 号が日本海を北東に進んだため、暖かく湿った空気が流れ込み、雨の降る所があり、一時強く降る所があった。

台風第 15 号は、8 月 16 日 15 時にフィリピンの東で発生し、18 日 9 時には奄美大島の西、19 日 9 時には対馬市の北北東、同日 12 時には西郷の西、同日 15 時には西郷の北北西、同日 18 時には輪島市の北西に進み、20 日 6 時過ぎに青森県津軽半島に上陸し、同日 18 時に北海道の東で温帯低気圧となった。県内は、台風第 15 号の接近・通過により 17 日~19 日にかけて断続的に強い雨が降り、県内の多い所で 80 ミリを超え、18 日には玉野で 1 時間に 26 ミリ、19 日には高梁で 1 時間に 14 ミリの強い雨が降った。また、19 日明け方から宵のうちに掛けて強風域に入り、県内の最大風速は強い所で南よりの風 10 メートル前後、岡山では最大風速 南西の風 13.4 メートル、最大瞬間風速 南西の風 21.1 メートルを、津山では最大風速 南南西の風 8.2 メートル、最大瞬間風速 南西の風 18.0 メートルを観測した。

下旬は、旬の前半に四国沖に停滞した前線が日本海に北上し再び四国沖に南下したため、大気の状態が

不安定となり雨の降る所があった。その後、高気圧に覆われ概ね晴れたが、上空の寒気や強い日射のため大気の状態が不安定となり雨の降る所があった。下旬の終わり頃には台風第 16 号が中国地方を通過したため、荒れた天気となった。

台風第 16 号は、8 月 19 日 21 時にマーシャル諸島付近で発生し、29 日 9 時には名瀬市の東、30 日 9 時には鹿児島県枕崎市付近、同日 9 時半頃に鹿児島県串木野市付近に上陸した。30 日 12 時には熊本県八代市付近、同日 15 時には大分県中津市付近に進み、同日 17 時過ぎに山口県防府市付近に再上陸し、同日 18 時には山口県周南市付近、同日 21 時には鳥取県米子市付近、31 日 0 時には京都府舞鶴市の北北西、同日 3 時には石川県輪島市の西、同日 6 時には新潟県佐渡市の北西に進んだ。その後 31 日 9 時に青森県深浦の西西南西に進み、同日 14 時過ぎに北海道苫小牧市付近に再上陸し、31 日 21 時にオホーツク海で温帯低気圧となった。

県内は、強風域に 29 日宵のうちから 31 日明け方にかけて、暴風域には 30 日夕方から 31 日午前 3 時まで入り、県内各地のアメダス観測所では最大風速が 10 メートルを超え、県南部を中心に 15 メートル前後の強い風を観測した。岡山では最大風速 南西の風 21.1 メートル（31 日 00 時 20 分）最大瞬間風速 南西の風 38.5 メートル（30 日 23 時 51 分）津山では最大風速 東南東の風 14.7 メートル（30 日 19 時 40 分）最大瞬間風速 東南東の風 34.4 メートル（30 日 19 時 42 分）を観測した。30 日の県内各地の雨量は 50 ミリ～80 ミリであった。また、宇野検潮所では 30 日 23 時 18 分に東京湾平均海面上 254 センチを、高潮の最高潮位は 30 日 22 時 47 分に東京湾平均海面上 255 センチを、最大潮位偏差は 30 日 22 時 16 分に 137 センチを観測した。

この月は、前半は太平洋高気圧の北への張り出しが平年に比べ強く、台風第 10 号と第 11 号の影響を受け、中旬頃からの停滞した前線や南からの湿った空気、台風第 16 号の影響を受け、降水量が多かった。岡山では月降水量の多い方から 2 位（256.5 ミリ、これまでの最大は 1993 年 8 月の 258.5 mm）を、津山では月降水量の多い方から 4 位（286.5 ミリ）を更新した。

8 月 10 日にエンマコオロギの初鳴（いずみ町）（平年は 8 月 15 日、昨年は 8 月 12 日）を、10 日にアカカネの初見（いずみ町）（平年は 8 月 16 日、昨年は 8 月 10 日）を観測した。

平均気温は「平年並み」。降水量は「平年より多い」～「平年よりかなり多い」。日照時間は「平年並み」、岡山・奈義・和気・玉野は「平年より少ない」。

9 月＜台風第 18 号による高潮、台風第 21 号による広戸風、1998 年に次ぐ高温、日照不足＞

上旬は、旬の初め頃は高気圧に覆われ晴れ間も出たが、4 日～6 日にかけて前線の影響で雲が広がり雨の降る所があった。上旬の中頃には台風第 18 号が長崎県に上陸し九州から山陰沖を通過したため、県内でも大荒れの天気となった。その後、寒気や南からの湿った空気の影響で雲が広がり雨の降る所があった。このため、日照時間が平年より少なく、降水量が県北部を中心に平年より多かった。

台風第 18 号は、8 月 28 日 9 時にマーシャル諸島で発生し、9 月 5 日 9 時には那覇市の東南東、7 日 9 時には長崎市の西、同日 9 時半頃長崎市付近に上陸し、同日 12 時に北九州付近、同日 15 時に浜田市の北、同日 18 時に西郷の北北東、同日 21 時に輪島市の北北西、8 日 9 時には小樽市の北西に進み、8 日 15 時に宗谷海峡で温帯低気圧となった。県内では、強風域に 7 日明け方から 7 日夜遅くにかけて、暴風域に 7 日昼前から宵のうちにかけて入り、県内のアメダス観測所では南東のち南西の風が 10 メートル前後、強い所では 15 メートルを超える所（笠岡 16 メートル、玉野 14 メートル）があった。岡山では最大風速 南西の風 17.9 メートル（17 時 20 分）最大瞬間風速 南西の風 33.8 メートル（17 時 28 分：日最大瞬間風速・風向の 1 位更新）を、津山では最大風速 東南東の風 16.6 メートル（18 時 20 分）最大瞬間風速 東南東の風 37.8 メートル（14 時 06 分）を観測した。県内各地の雨は、7 日昼過ぎから夕方にかけて断続的に強まり、県北部の多い所で 50 ミリ～70 ミリ、1 時間に 20 ミリ～30 ミリの強い雨の降った所があった。また、宇野検潮所では 7 日 17 時 46 分に東京湾平均海面上 203 センチを、高潮の最高潮位は 7 日 17 時 39 分に東京湾平均海面上 204 センチ、最大潮位偏差は 7 日 17 時 13 分に 108 センチを観測した。

中旬は、14 日に北海道の東海上に中心を持つ低気圧から伸びる寒冷前線の影響で雷雨となった。その他の日は、高気圧に覆われ概ね晴れる日が多かったが、南から湿った空気が入り大気の状態が不安定となり、雲が広がり雨の降る所があった。期間を通じて、高気圧に覆われることが多く、気温（最高気温・平均気温・最低気温とも）が平年より高く、降水量が平年より少なく経過した。

下旬は、旬の初めに前線が通過した後、前線が西日本に停滞した影響で雲が広がりやすく雨の降る所があった。下旬の終わり頃には台風第 21 号が鹿児島県に上陸し四国・近畿地方を通過したため、県内でも雨、風ともに強く大荒れの天気となった。この台風第 21 号に伴い、那岐山のふもとで吹く局地風「広戸風」が

吹いた。期間を通じて南から暖かく湿った空気が入りやすく、気温が平年より高く、日照時間が少なかった。また、台風第 21 号の影響で降水量が平年より多かった。

台風第 21 号は、9 月 21 日 3 時にグアム島の西南西で発生し、28 日 9 時には沖永良部島の西北西、29 日 6 時には鹿児島県枕崎市の西に進み、同日 8 時半頃に鹿児島県串木野市付近に上陸した。29 日 9 時には鹿児島市付近、同日 12 時には宮崎県日向市付近、同日 15 時過ぎに高知県宿毛市付近に再上陸し、同日 18 時には高知県安芸市付近、同日 20 時半頃に大阪市付近に再上陸し、30 日 0 時には福井市付近、同日 3 時には新潟県糸魚川市、同日 9 時には岩手県一関市に進み、同日 12 時に三陸沖で温帯低気圧となった。県内では、台風第 21 号の接近・通過に伴い、強風域に 29 日昼過ぎから 30 日明け方にかけて入り、県内のアメダス観測所では東よりの風のち西よりの風が 6 メートル～10 メートル、強い所で 20 メートルを超える所(奈義 22 メートル)があった。岡山では、最大風速 北の風 16.3 メートル(17 時 20 分) 最大瞬間風速 北の風 33.0 メートル(17 時 59 分)を、津山では最大風速 北の風 6.4 メートル(21 時 00 分) 最大瞬間風速 北西の風 19.0 メートル(18 時 56 分)を観測した。県内各地の雨は、28 日昼頃から降り始め、台風第 21 号の接近・通過に伴い 29 日昼頃から宵のうちに掛けて断続的に強まり、県南部と県北東部の多い所で 120 ミリ～190 ミリ、1 時間に 50 ミリを超える非常に激しい雨が降った所(古町 48 ミリ、津山 52.5 ミリ、和気 52 ミリ、玉野 48 ミリ)があった。台風第 21 号に伴い、那岐山のふもとで吹く局地風「広戸風」が吹いた。奈義アメダス観測所では北よりの強い風を、29 日 17 時 30 分頃から 23 時頃まで観測し、29 日 19 時 20 分には最大風速 北の風 22 メートルを観測した。

この月は、中旬を中心に高気圧に覆われ概ね晴れる日が多く、また月を通じて南から暖かく湿った空気が入りやすく、月平均気温が高く、月間日照時間が少なかった。岡山では、月平均気温の高い方から 2 位(25.4、これまでの最高は 1999 年 9 月の 26.4) 月間日照時間の少ない方から 2 位(106.3 時間、これまでの最小は 1993 年 9 月の 99.7 時間)を、津山では月平均気温の高い方から 2 位(23.2、これまでの最高は 1999 年 9 月の 23.9) 月間日照時間の少ない方から 2 位(92.9 時間、これまでの最小は 1945 年 9 月の 57.0 時間)を更新した。

9 月の真夏日¹⁰⁾の日数は、岡山で 15 日(平年 8.3 日) 津山で 8 日(平年 6.0 日)であり、9 月 30 日現在の年間合計は、岡山で 81 日(平年 59.8 日、これまでの最大は 1990 年の 83 日) 津山は 66 日(平年 50.2 日、これまでの最大は 1967 年の 78 日)であった。

9 月 3 日にヤマハギの開花(半田山)(平年は 9 月 6 日、昨年は 8 月 25 日)を、6 日にモズの初鳴(津島)(平年は 9 月 13 日、昨年は 9 月 8 日)を、9 日にヒガンバナの開花(浜)(平年は 9 月 15 日、昨年は 9 月 19 日)を、30 日にススキの開花(後楽園)(平年は 9 月 10 日、昨年は 9 月 23 日)を観測した。

平均気温は「平年よりかなり高い」、古町・笠岡・玉野は「平年より高い」。降水量は「平年より多い」、恩原・千屋・陣山・高梁は「平年よりかなり多い」。日照時間は「平年よりかなり少ない」、古町・久世・虫明・笠岡は「平年より少ない」。

10 月<台風第 23 号による暴風・大雨と広戸風>

上旬は、2 日に前線が中国地方を南下し雲が広がり雨の降る所があった。その後、上空の寒気や前線の影響、高気圧が北に偏って張り出したため、晴れ間もあったが雲が広がり雨の降る日があった。9 日には台風第 22 号が南海上を北東に進んだ。期間を通じて雲が広がりやすく、降水量が平年より多い所があった他、日照時間が平年より少なかった。

台風第 22 号は、10 月 4 日 12 時にフィリピンの東で発生し、8 日 9 時には南大東島の南、9 日 9 時には潮岬の南、同日 12 時には潮岬の東南東、同日 15 時には御前崎の南南東に進み、同日 16 時頃に伊豆半島に上陸した。9 日 18 時には千葉市付近、同日 21 時にはいわき市の南東に進み、10 日 9 時に日本の東で温帯低気圧となった。

中旬は、旬の中頃まで高気圧に覆われて概ね晴れたが寒気の影響で雲が広がる所があった。中旬の終わり頃には、日本の南海上に停滞した前線が活発となり次第に北上し雨となった他、台風第 23 号が四国に上陸し近畿地方を通過したため大荒れの天気となった。期間の中頃を中心に寒気の影響で、気温が平年より低かった。また、台風第 23 号と前線の影響で、降水量が平年より多かった。

台風第 23 号は、10 月 13 日 9 時にマリアナ諸島で発生し、19 日 9 時には那覇市の南南西、20 日 9 時には宮崎県都井岬の東南東、同日 12 時には足摺岬の南西、同日 13 時頃高知県土佐清水市付近に上陸した。その後、20 日 15 時には高知県安芸市付近、同日 18 時前に大阪府南部に再上陸し、同日 21 時には岐阜市付近に進み、21 日 9 時に関東の東で温帯低気圧となった。

県内では、台風第 23 号が四国に上陸し近畿地方を通過したため、強風域に 20 日午前 0 時頃から 21 日明

け方にかけて入り、暴風域に 20 日昼過ぎから宵のうちにかけ入り、県内のアメダス観測所では北よりの風が 10 メートル前後、強い所で 30 メートルを超える所 (奈義 34 メートル) があった。岡山では、最大風速 北の風 21.2 メートル (17 時 10 分: 日最大風速・風向の 1 位更新) 最大瞬間風速 北東の風 41.4 メートル (17 時 7 分: 日最大瞬間風速・風向の 1 位更新) を、津山では最大風速 北北西の風 18.2 メートル (17 時 20 分: 日最大風速・風向の 4 位更新) 最大瞬間風速 北の風 50.4 メートル (17 時 13 分: 日最大瞬間風速・風向の 1 位更新) を観測した。県内各地のアメダス観測所でも 10 月の日最大風速・風向の 1 位を更新した所 (奈義 34 メートル、久世 10 メートル、福渡 9 メートル、和気 11 メートル、高梁 10 メートル、虫明 9 メートル、倉敷 10 メートル、笠岡 11 メートル) があった。

県内各地の雨は、前線の影響で 18 日宵のうちから降り始め、20 日には台風第 23 号の接近・通過に伴い断続的に強まり、19 日には 40 ミリ～80 ミリ、20 日には 80 ミリ～200 ミリの雨があった。18 日から 20 日までの雨量は県南部沿岸と県北部山沿いの多い所で 200 ミリ～250 ミリ (上長田 233 ミリ、恩原 254 ミリ、虫明 201 ミリ、玉野 245 ミリ) 20 日には 1 時間に 20 ミリを超える強い雨が降った所 (上長田 24 ミリ、恩原 24 ミリ、周匝 19 ミリ、玉野 28 ミリ (日最大 1 時間降水量の 1 位更新)) があった。

台風第 23 号に伴い、那岐山のふもとで吹く局地風「広戸風」が吹いた。奈義アメダス観測所では北よりの強い風を 20 日 9 時頃から 23 時過ぎまで観測し、20 日 17 時 00 分に最大風速 北の風 34 メートルを観測した。

下旬は、旬の前半は高気圧に覆われ晴れる日が多かったが、26 日に四国の南海上の前線と気圧の谷の影響で雨となった後、高気圧に覆われるが上空に寒気が入り、気温が平年より低い日があった。下旬の終わり頃には、九州の南海上の低気圧や前線の影響で雲が広がり、雨の降る所があった。

台風第 24 号は、10 月 16 日 21 時にトラック諸島で発生し、24 日 9 時には沖縄の南、25 日 9 時には与那国島の西南西、26 日 9 時には宮古島の北に進み、同日 12 時に九州の南で温帯低気圧となった。

台風第 24 号に伴い南海上の前線が北上し、また、台風第 24 号から変わった温帯低気圧の東進により、県内では 26 日 0 時頃から夜遅くまで雨が降り、各地で 10 ミリ～30 ミリの雨量となった。

この月は、台風第 23 号が四国に上陸し近畿地方を通過したことや台風第 24 号から変わった温帯低気圧が四国の南海上を東進したこと、及び前線の影響を受けやすかったことから、月降水量が多く、平年の 150%～300%、多い所で 400%を超えた所 (玉野) があった。岡山では、月降水量の多い方から 1 位 (242.0 ミリ、これまでの最大は 2001 年 10 月の 239.5 ミリ) を更新した。また、県内各地のアメダス観測所でも月降水量の多い方から 1 位 (上長田、恩原、和気、虫明、玉野) を更新した所があった。

10 月 6 日にサクラの不時現象¹¹⁾ (開花、後楽園) を観測した。

平均気温は「平年より高い」、福渡・虫明・笠岡・玉野は「平年並み」、降水量は「平年より多い」～「平年よりかなり多い」。日照時間は「平年並み」、上長田は「平年よりかなり少ない」、千屋・久世・虫明は「平年より多い」、古町は「平年よりかなり多い」。

11 月 <2003 年に次ぐ高温、多照>

上旬は、期間を通じて高気圧に覆われ晴れる日が多かったが、気圧の谷や寒気の影響で雲が広がり一時雨の降る所があった。高気圧に覆われ晴れる日が多かったため、気温が平年より高く、降水量が平年より少なかった。

中旬は、数日の周期で変わり、11 日～12 日、14 日～15 日と 18 日～19 日は低気圧や前線の影響で曇りや雨となった。低気圧や前線の通過後は一時的に冬型の気圧配置となり、県南部では概ね晴れるが、県北部では寒気の影響でしぐれる所があった他、移動性高気圧に覆われ概ね晴れた。低気圧や前線の影響で南から暖かく湿った空気が入りやすく、気温が平年より高く、降水量が県南部を中心に平年より多かった。

下旬は、20 日～21 日にかけて冬型の気圧配置となり県北部では寒気の影響でしぐれる所があり、26 日には日本海を進む低気圧から伸びる寒冷前線が通過し雨の降る所があった他、高気圧に覆われ概ね晴れる日が多かった。期間を通じて、高気圧に覆われ晴れる日が多かったため、気温が平年より高く、降水量が平年より少なく、日照時間が平年より多かった。

この月は、上旬と下旬を中心に高気圧に覆われ晴れる日が多く、また南から暖かい空気が入りやすかったため、気温が平年より高く、日照時間が平年より多かった。このため、岡山では月平均気温の高い方から 2 位 (14.0、これまでの最高は 2003 年 11 月の 14.3) を、津山では月平均気温の高い方から 2 位 (11.0、これまでの最高は 2003 年 11 月の 11.9) を更新し、岡山では月間日照時間の多い方から 3 位 (183.6 時間、1988 年 11 月の 188.7 時間・1995 年 11 月の 183.8 時間に次ぐ多照) を更新した。

11 月 24 日にイチョウの黄葉 (後楽園) (平年は 11 月 14 日、昨年は 11 月 30 日) を、29 日にイロハカエ

デの紅葉 (後楽園) (平年は 11 月 26 日、昨年は欠測) を観測した。

平均気温は「平年よりかなり高い」、奈義は「平年より高い」。降水量は県北部を中心に「平年よりかなり少ない」～「平年より少ない」、県南部を中心に「平年より少ない」～「平年並み」、虫明は「平年より多い」。日照時間は「平年より多い」～「平年よりかなり多い」、奈義は「平年並み」。

12 月 < 発達しながら通過した低気圧による大雨、県南部の降雪、1998 年に次ぐ高温、多雨 >

上旬は短い周期で変わり、3 日は移動性高気圧に覆われ概ね晴れ、放射冷却のため、この冬初めて県北部を中心に最低気温が氷点下となった。4 日には低気圧が発達しながら西日本を通過し大雨となった。5 日には一時的に強い冬型の気圧配置となり、寒気の影響で雲が広がる所があった。7 日には寒冷前線が通過し、雲が広がり雨の降る所があった他、高気圧に覆われ概ね晴れた。

4 日に、台風第 27 号の北側に停滞した前線上に低気圧が発生し、発達しながら西日本から東日本に進んだ。台風からの湿った空気の影響で、低気圧や前線に向かって暖かく湿った空気が流れ込み、低気圧が急速に発達し、5 日には強い冬型の気圧配置となった。このため、5 日にかけて西日本、東日本、北日本の広い範囲で大雨 (大雪) や強風となった。

岡山県内では、4 日昼頃から降り出した雨は、4 日夜遅くから 5 日午前 1 時頃にかけて断続的に強まり、1 時間に 15 ミリを超えるやや強い雨が降った。また、5 日は強い冬型の気圧配置となったため、県北部を中心にしづれる所があった。4 日から 5 日にかけて県内の雨量は 60 ミリ～90 ミリ、県北部の多い所で 150 ミリを超える所 (恩原 154 ミリ) があり、この時期としては大雨となった。4 日の日降水量は、県内各地のアメダス観測所の多くで 12 月の日降水量の歴代記録 1 位を更新する所があった。

中旬は、数日の周期で気圧の谷や前線の影響を受けた。気圧の谷や前線の通過後、一時的に冬型の気圧配置となり、県北部を中心に雲が広がり雨の降る所があった。その他の日は、高気圧に覆われ概ね晴れ、気温が平年より 2 以上高く、降水量が平年の 20%～60% 程度であった。

下旬は、25 日に寒気を伴った気圧の谷が通過し雨の降る所があり、29 日には低気圧が四国の南を発達しながら通過した後、冬型の気圧配置となり県北部では雪の降る所があった。31 日には低気圧が西日本の南岸を発達しながら通過したため、県南部でも雪の降る所があった。その他の日は冬型の気圧配置となり、県南部では概ね晴れ、県北部では雲が広がり雪や雨の降る所があった。

20 日に低気圧が発達しながら日本海を進んだ後、冬型の気圧配置が続き、24 日には放射冷却のため県内各地のアメダス観測所で最低気温が氷点下となった。岡山では、24 日に初霜 (平年は 11 月 23 日、昨年は 12 月 20 日) を観測した (1983 年以降の最も遅い初霜は 1998 年 12 月 21 日)。

29 日に低気圧が四国の南を発達しながら進んだ後、冬型の気圧配置となり上空に寒気が流れ込み、県北部では 29 日 22 時頃から 30 日 10 時頃まで雪となった。この期間の最深積雪は、上長田 21 センチ、千屋 7 センチ、古町 5 センチ、津山 3 センチであった。

また、31 日には低気圧が西日本の南岸を発達しながら進んだ後、強い冬型の気圧配置となった。このため、県南部でも雪の降る所があり、岡山では 31 日 6 時頃からみぞれを、その後 14 時前まで雪を観測し、31 日に初雪 (平年は 12 月 16 日、昨年は 12 月 20 日) と結氷 (平年は 12 月 13 日、昨年は 12 月 20 日) を観測した。31 日の最深積雪は、上長田 19 センチ、千屋 16 センチ、古町 2 センチ、津山 7 センチ、岡山 1 センチであった。このため、岡山では降雪の深さ日合計の 1 位 (1 センチ、これまでの最大は 2003 年 12 月 21 日の 0 センチ) と降雪の深さ月合計の 1 位 (1 センチ、これまでの最大は 2003 年 12 月の 0 センチ) を更新した。

この月は、上旬から中旬にかけては低気圧が通過した後、一時的に冬型の気圧配置となったが、移動性高気圧に覆われる日が多く、気温の高い状態が続いた。このため、岡山では月平均気温の高い方から 2 位 (8.6、これまでの最高は 1998 年 12 月の 9.0) 津山では月平均気温の高い方から 4 位 (5.6) を更新した。また、4 日から 5 日にかけて発達しながら通過した低気圧と台風第 27 号からの湿った空気の影響による大雨、及び月末に低気圧が南岸を通過した影響による降雪のため、月降水量がかなり多かった。このため、岡山では月降水量の多い方から 1 位 (112.0 ミリ、これまでの最大は 2002 年 12 月の 52.5 ミリ) 津山では月降水量の多い方から 1 位 (108.0 ミリ、これまでの最大は 1949 年 12 月の 107.8 ミリ) を更新した。

12 月 5 日にイチョウの落葉 (後楽園) (平年は 11 月 28 日、昨年は 12 月 8 日) を、11 日にイロハカエデの落葉 (後楽園) (平年は 12 月 10 日、昨年は欠測) ツバキの開花 (後楽園) (平年は 1 月 16 日、昨年は 12 月 22 日) とスイセンの開花 (後楽園) (平年は 1 月 16 日、昨年は 1 月 14 日) を観測した。

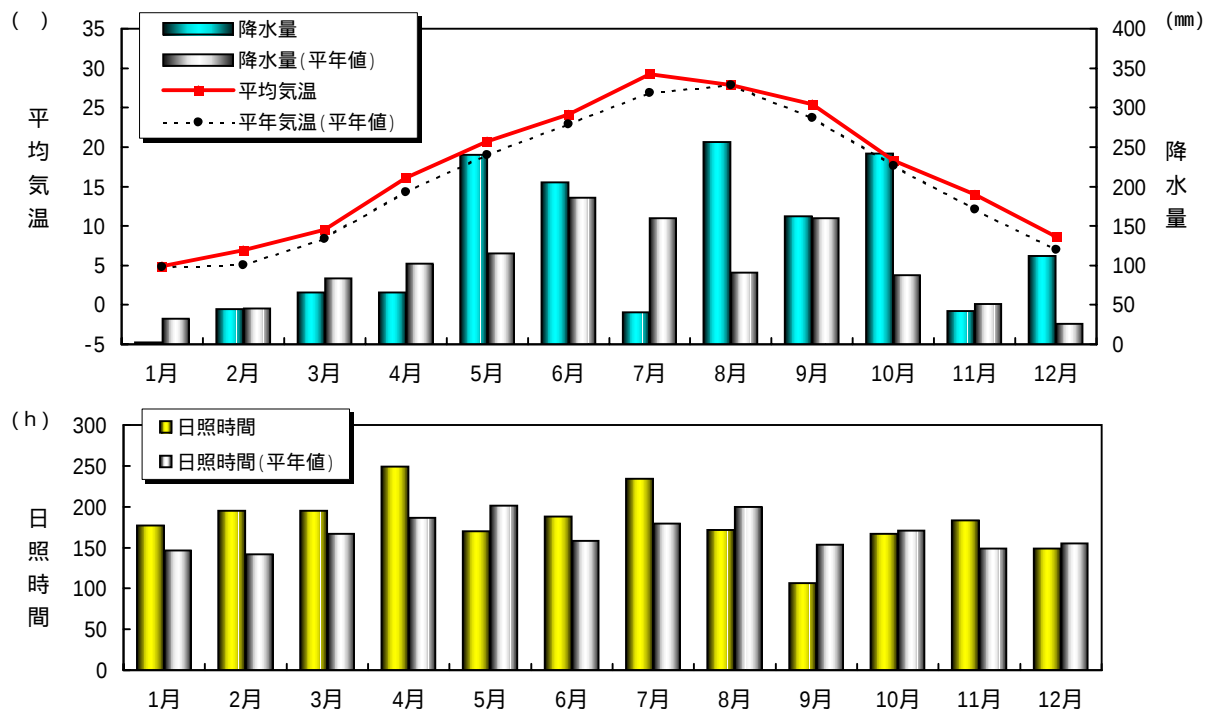
平均気温は「平年より高い」～「平年よりかなり高い」。降水量は「平年よりかなり多い」、上長田は「平年より少ない」。日照時間は「平年並み」～「平年より多い」。

用語などの説明

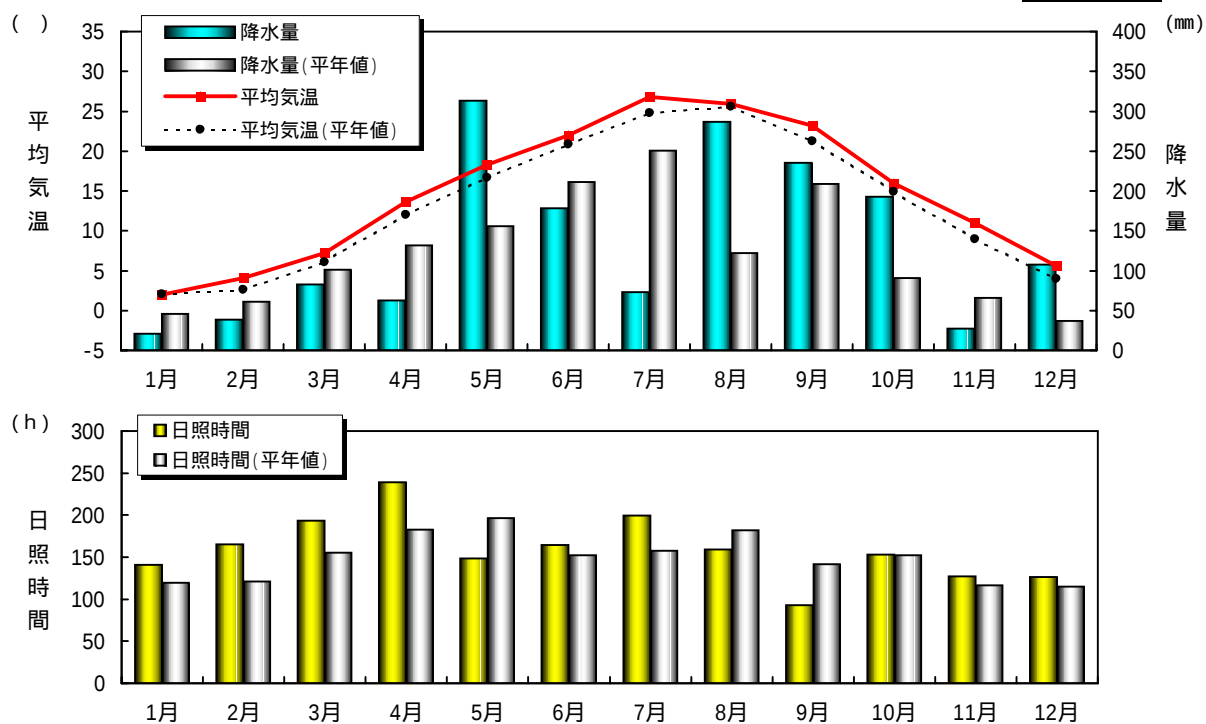
- 1) 暖冬：冬（12 月～2 月）の平均気温が 3 階級表現で「高い」冬のこと。
- 2) 春一番：気象庁では、立春から春分までの間に、広い範囲（地方予報区くらい）で初めて吹く、暖かく（やや）強い南よりの風としている。
- 3) 桜の開花：桜（ソメイヨシノ）の花が 5～6 輪以上開いた状態。
- 4) 桜の満開：桜（ソメイヨシノ）の花が咲きそろった時の約 80% 以上が咲いた状態。
- 5) 黄砂：主として大陸の黄土地帯で吹き上げられた多量の砂じんが空中を浮遊して流され徐々に降下する現象。春には、西日本を中心にたびたび黄砂が現れる。
- 6) 梅雨：春から夏に移る過程で、ある期間、その前後に比較して雨が多くなり、日照時間が少なくなるような季節現象をいう。
 梅雨入り：それ以前に比べて雨の日が増え、日照時間が少なくなる期間の始まり。
 梅雨明け：その前の期間に比べて、雨の日が減り、日照時間が多くなってきた頃。
- 7) 冬日：日最低気温が 0 未満の日。
- 8) 真冬日：日最高気温が 0 未満の日。
- 9) 夏日：日最高気温が 25 以上の日。
- 10) 真夏日：日最高気温が 30 以上の日。
- 11) 不時現象：生物季節現象がその平年の起日と著しくかけ離れた時期に起こる場合、不時現象という。

平成16年気象変化図

岡山



津山



平成16年 気象官署の極値順位更新表

○ 1 月極値の更新

官署名	事項名	観測値	起日	従来値	統計開始
岡 山	日最大瞬間風速・風向	28.1m/s WNW	1月13日	27.7m/s W (2003/1/29)	1997年
岡 山	月降水量の少ない方から	2.5mm		9.0mm (1986/1)	1983年
津 山	月最深積雪	12cm			2003年

○ 2 月極値の更新

官署名	事項名	観測値	起日	従来値	統計開始
岡 山	日最大1時間降水量	10.0mm	2月22日	9.5mm (1990/2/20)	1940年
岡 山	日最高気温の高い方から	21.3	2月22日	20.0 (1996/2/14)	1983年
岡 山	日最小相対湿度	13%	2月19日	17% (2002/2/7)	1983年
岡 山	月間日照時間の多い方から	194.8h		174.2h (1983/2)	1983年
津 山	日最大10分間降水量	3.0mm	2月22日	3.0mm (1990/2/20)	1943年
津 山	日最高気温の高い方から	22.5	2月22日	21.3 (1954/2/27)	1943年
津 山	日最小相対湿度	18%	2月20日	18% (1977/2/28)	1950年
津 山	月最深積雪	2cm			2003年

○ 3 月極値の更新

官署名	事項名	観測値	起日	従来値	統計開始
岡 山	日最大瞬間風速・風向	28.1m/s WNW	3月6日	25.3m/s WSW (2000/3/26)	1997年
岡 山	日最低気温の高い方から	13.6	3月30日	13.3 (1987/3/23)	1983年

○ 4 月極値の更新

官署名	事項名	観測値	起日	従来値	統計開始
岡 山	日最高気温の高い方から	29.6	4月22日	29.4 (1983/4/27)	1983年
岡 山	日最小相対湿度	10%	4月29日	11% (2000/4/18)	1983年
岡 山	月間日照時間の多い方から	249.3h		216.0h (1985/4)	1983年
津 山	日最小相対湿度	11%	4月13日	11% (2003/4/16)	1950年
津 山	月間日照時間の多い方から	239.2h		233.7h (1945/4)	1943年

○ 5 月極値の更新

官署名	事項名	観測値	起日	従来値	統計開始
岡 山	日最低気温の高い方から	22.1	5月30日	21.9 (1991/5/26)	1983年
津 山	月降水量の多い方から	313.0mm		301.5mm (1980/5)	1943年

○ 6 月極値の更新

官署名	事項名	観測値	起日	従来値	統計開始
	な し				

○ 7 月極値の更新

官署名	事項名	観測値	起日	従来値	統計開始
岡 山	日最大風速・風向	15.4m/s E	7月31日	14.0m/s NNE (1997/7/26)	1996年
岡 山	日最高気温の高い方から	37.9	7月29日	37.6 (1994/7/15)	1983年
岡 山	月降水量の少ない方から	40.5mm		54.5mm (2001/7)	1983年

○ 8 月極値の更新

官署名	事項名	観測値	起日	従来値	統計開始
岡 山	日最大風速・風向	21.1m/s SW	8月31日	21.0m/s SW (1996/8/14)	1996年
岡 山	日最大瞬間風速・風向	38.5m/s SW	8月30日	31.6m/s SW (1996/8/14)	1996年
津 山	日最大1時間降水量	59.0mm	8月5日	56.0mm (1968/8/15)	1943年
津 山	日最小相対湿度	25%	8月11日	25% (1996/8/18)	1950年

○ 9 月極値の更新

官署名	事項名	観測値	起日	従来値	統計開始
岡 山	日最大瞬間風速・風速	33.8m/s SW	9月7日	33.8m/s SW (1999/9/24)	1996年

○ 1 0 月極値の更新

官署名	事項名	観測値	起日	従来値	統計開始
岡 山	日最大風速・風向	21.2m/s N	10月20日	14.5m/s NNW (1998/10/18)	1996年
岡 山	日最大瞬間風速・風向	41.4m/s NE	10月20日	26.1m/s W (1998/10/17)	1996年
岡 山	月降水量の多い方から	242.0mm		239.5mm (2001/10)	1982年
津 山	日最大瞬間風速・風向	50.4m/s N	10月20日	31.5m/s NNW (1967/10/27)	1951年

○ 1 1 月極値の更新

官署名	事項名	観測値	起日	従来値	統計開始
	な し				

○ 1 2 月極値の更新

官署名	事項名	観測値	起日	従来値	統計開始
岡 山	日最大1時間降水量	14.5mm	12月4日	12.5mm(1986/12/14)	1940年
岡 山	日降水量	76.5mm	12月4日	42.3mm(1921/12/9)	1891年
岡 山	降雪の深さの日合計	1cm	12月31日	0cm(2003/12/21)	1982年
岡 山	降雪の深さの月合計	1cm		0cm(2003/12)	1982年
岡 山	月最大24時間降水量	85.0mm	12月4日	38.5mm(1972/12/23)	1971年
岡 山	月降水量の多い方から	112.0mm		52.5mm(2002/12)	1982年
津 山	日最大10分間降水量	4.5mm	12月4日	4.2mm(1957/12/12)	1943年
津 山	日最大1時間降水量	14.0mm	12月4日	10.5mm(1972/12/23)	1943年
津 山	日降水量	72.5mm	12月4日	43.5mm(1972/12/23)	1943年
津 山	月最大24時間降水量	81.5mm	12月4日	48.0mm(1972/12/23)	1971年
津 山	月降水量の多い方から	108.0mm		107.8mm(1949/12)	1943年